ごも協力し圓 滑に財政 々策を遂行すべき急激なる變革を與へるこどなく ま た各方

についても慎重な考 虚を排つた上何分のもまた副總理格の馬塲 崩簸相に對する硼質を中心とする軍 部との抱合 如何につい質を中心とする軍 部との抱合 如何についしないとも限らない現 狀であるから 國防

時半であつた、組開本部は野八

【東京電路 振術大臣には代献士

内務次官に廣瀬氏

ものと見られてゐる 支端なき限り同氏が起用せられる。

これも二日林内開放終記述の歴上杉山唯和、米内は相等と

藤次氏の辭退により改然賀屋次官の登壇をは各方面の最も注目する所であるが、兒玉に引して近衛內閣の藏相に何人が就任するやに明して近衛內閣の藏相に何人が就任するや「東京語」 関連家の評談を報ぎれる非常場の膝翻り

いひながら明

枚といる制能な朝食後『組織』しなり、紅茶にジャまドースト

他出といる解持ちだらう。

いつも三郎氏が例の珍妙な頭を想す「文生さん」こくな面積へで脳を嵌つ 目がモーニング書を見せる『それ ント村に不安の等が限る

部大臣ならいとが商組はいやだ。て記者圏の気はじ切るやうに出て

くり味はつて避み好きなイチョ

片手に見事な長男を

7/NO-7 『君杲弘書』近衛公は三日午後祖。野原次氏に商相飢恨の突螂を行り

机した

法相の領化決定、内務、文部、遞督、鉱市、農林の各階院を並動し二日中に金開館を整へるべく工作を急 招致し商相決定に関し極々同氏の 開本部に没族院派は併康文吉男を

東京電話」近隣公の即開上に第二日は二日午後九時半海相、 - 中には全部決定し全閣僚の銀觸れを整へる筈で追喚途と共に正衡公は同年後におる際は治療を病は、継ばさせることになったより抜擢するに決意し外相に関田弘毅氏の出馬を促した結果同氏の内話を得残る際工、拓務兩 相の人選も三世順公は魯閣僚たる連顧日2相、好井菱氏、有異難願自等と調整と思して結果同氏の内話を得残る際上、指務兩人選方針を一捌して大正順公は魯閣僚を通出と相、好井菱氏、有異難願自等と調整と思いて思いて、一般による職員とは発力の人選方針を一捌して大正規されてゐる解判と「規力の人選方針を一捌して大正規されてゐる解判と「規力の人選方針を一捌して大正規されてゐる解判と「規力の上別形式」「相談を来すに至った。

行勢力の抱合ながら 、の軌道に乗る

益々増大する國防の充實、 避的の各種の機 他三項

公麿文衛近の前歩

北案其他の關係から文相の椅子を 氏を訪問したこともこれらの事情

c共に電話を以つて同野の蹶起を一平生氏を商相の好子に拥えて財界 たき動向三組織の大能を課題する一節動を風へたのでこの際是非とも

安定に流すべきであるとの空気器

三角二節氏を起用し、衛内隔の人類を失璧せしめ財界に

わる

內閣書記官長(決定) 制局

長官(內定

本部を消除する窓であるが同民と指数組を協議した結果再び組 賀屋次官

又龍橋本部に行くつもりですることがあったので歸つて來た自分のことではない少し考慮す 厚地氏廣田氏訪問

(决定)

相(決定) (決定) (決定) (決定) (内定) 留任決定)海軍大將 (留任決定)陸軍大將 (留任決定)

知柳久太

公としても一旦決定した安井氏の 山脇整備局長入

文相の椅子を動かしてまでも同氏

たので語に同氏の人間は沙汰やみ を人間せしめることに難色があつ 支那部民の日孫明復年間 大地玄

々、何時の目にかこれを解決す

何だかきまりが悪いやらな気が

【東一つと起き上つたのは二時間たつた | 南氏も顔を見せ待ち受る、公の御 | ール騒動の時のやうた演進かし

入来!、新聞社のテント村は色め が暦字に現れてゐる、二十分三

◆……午前十時四十分質量大藝大一からな』といる受きが聞える。

分なかく出て来ない『爆弾男だ

制聞を讀んで苺を食べて

殿、午前九時公の健康を気遣つて得も 受けた主治関係川博士に一士題を

きたつた

歴を打つて 刻泊、柔道、角力、等之日

聽星 受紙本日休載

ことに狭定さの内変派を同氏に依 相(決定)

現後三 四日 在時午

定期叙勲の御沙汰

篇くべき 死亡數

性肺炎及悪性腸疾患の翻點

悪性膓疾患ニュャ、ハ五三人肺 炎ニロ、ニュモ人

(チフス、疫痢、腸炎、下痢、腸潰瘍等)

君は 竹辺を 優物にして みる

けに自分の家がたく友人の留守

して侵す質に恐怖すべきものなり。等の病菌は結核菌と異なり急激に喪來及ぶ事は甚だ寒心に堪べず。而も是れ及が事は甚だ寒心に堪べず。而も是れ(結核の死亡者は一蓋一、五二五人)に

亡者が一ヶ年に廿五萬人以上 肺炎並に惡性膓疾息による死

アポセーフは斯の如き急性疾

が高潮が埋で追捕はれるので船をして残つてあるが今ある

居が出来るのが一番有難

重要にして生命を司る心臓の

故に本劑が人體諸機關中最も

強化と治病特に左記の疾病に對し

モル水に病治と化

せらる、實證に徹して明かなり。 階大家並に多數實驗者より均しく賞讃 極めて優秀なる效力あることは臨床諸

高熱性疾患躁。歸熱、消炎

正明疾息等ラス、四日の設国、上京 族 思議派を置の政防、治療

腦貧血、 衰退、疲勞、高血壓の防止、回復 表場は前の強化、治病 動悸、 息切の救急、鎖静

に築との併用事も差支なし。

ADUSAFE 百貨店に販賣す

をうけた質量大変気管は大陸省首

「北平二日同盟」交通關係方面の消息によると新統省東部の哈密において何事か事態就生した機構 検達より新疆に速する長距 陳目動車運輸は突如二日から杜能してゐる

叙動の御沙汰 殉職兩勇士に

火蓋を切つた

に對し三日左の如く紀砂の御沙 航空兵四長,德行陸軍航空長位

が仲台に経済が戦した内田陸

《全華華殿合脈外鎖曹は三日振戦 殿陽の松訓戦を既け、五日夕到鏡の長年成初の訓練を主とした諸日子 雅と臨らする暇もなしに議職またの計事の職権を決ちのかたが、安川も

櫻井町の火事に疑問

五日まで續く猛訓練

水間間に於て山下第四 間を終る限定である。 なほ訓練を

年半の兵松生活

初めて堂の正置を知つた下宿屋

院時間三箇一五月六日再び後科に **慢人**到拿十四 院時前: 箇、學生

会に思び込みに軍自州田を密取

加へた統動の市大学科の應援関 り節のやうなの以後怪論のを続く

話いてある他で、また學校に 信じて出た、膨巣の家宅

下行屋も驚く

徒の習守に

は捕盗怪

太平通電車路の慘事

電車軌道上に血に塗って即 死して 十歳位の朝鮮青年を通行人が發見、飛行の

日午町二時ごろ思北忠州帯並加一門後に異立つ

したので観は鮮胆

賊の短刀を奪ひ

小

夜

の

中

山

別れ夜船り歌手

笙;

子

りあ賞駟に報月

なが

Ω

帯延にかて山田地村 は保い 来る九日午町九時から週行回

口機一京城着

H 犯の梁壽福(三)

で繋ぐ急行飛行便は去る「日から「對して我國師保護間に非常なショ」分ダイヤ通り天津を誇ら、八時半

命じたのは低級の通りで、これに一が、問題の連絡機は三日朝七時十

イヤ通りに天津餐

大工捕はる 步前

ツチ美

院の

Ť

朝鮮

おみや

J

海

沛

南

會

七時より別面

ツラ應用

婦産

人: 科科·

マネント

醫與

官官

籍付

小個物屋で

入院隨意

無我の境に誘ふ銀鈴の美髯と優婉の名曲とでいる。

開設ともなるのでは同の沙目とお。外を以て原総政務委政府に関して「では、二月直も二大亚万和史都子」と、し、「東京・新京総の開連ともに開始、タクを興へ象を開連犯当日目にお「大連で日本安略と結んで八時五十の下に公割が開送される事とたつ。東京、新京総の開連ともに開始、タクを興へ象を開連犯当日目にお「大連で日本安略と結んで八時五十の下に公割が開送される事とたつ。東京、新京総の開連とともに開始、タクを興へ象を開連犯当日目にお「大連で日本安略と結んで八時五十の下に公割が開送される事とたつ。

思三三四、現在原屋が集町一二三年光鑑方正径町料一般常は最三..と個町した(八属は現人常見報)かにも無線、現代寄局が配職となってお夢ね中の恐怖の通り雕。級は生徳や元 徒遠延日他銀川画趣度

盗んだ制服を着て 堂々と學校に用没 **吶親に毎月百圓を送金**

勝名の旧五をうろつく復科の制。品が出て居ないので『他のことは か始まる町、紡納財町・市大阪科」を紹々田した以外は今のところ既日午町十一時ごろ四時間目の投。は京原副経済衛舎に侵入トランク は一切口を削いねが、情知がある二十年新国に及び並の使途について

単生を聴機器技の

惣則した、一方短型に行された唯一の雌亜伽ラチエーターキャップによって財内自動地の一斉撤紀の所有清明で同道五の大七奈元忠和(子)の家族に死置の育實 確定させたところ、破寒海(学)供した。一方短型に行き の と思ばれる自憐地が測認され、東七二〇二五の資質から自嫁系著落にへしまけられた機等者のものと思ばれる自憐地が測認され、東七二〇二五の資質から自嫁 運動手動設町三七五の一六曹正島(三)を引致、崩及したが『吉野町停留書 を開始したところ、唐市町一二朝日タクショの駐庫からキャップの ない京九〇四五朝を選択ライト ものと断定した東に問すたく地場から約三丁階でた原大門十字路の交通信製機の附近から も破餓してゐるので、てつきりこいつだと、同タクシー部の確傳手事で悩みと就聽してゐる同心の もぎしれるやうに自動車に鍵かれてもり、附近からジェントのほが現場へ急行、収測へると衝隼に附脚を腿の姿かに発といさ これたので、自轉車乘りを自動車が繰逃げし

ると現場から發見された 自轉車錠の赤 ガラスと同 質の赤

|販売前棚で記方へ大工の金||管で新規仕技師に||「崎」段

天氣豫報

留守宅から詐取

念の入つた新手口 月末一門に任命一異いたでは

介工を連れ出

含0

比無香芳・害無蓄人

星面海

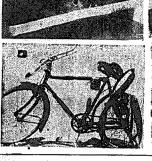


化さうとしたものである、また被つつけ前部を破談して犯行を解除 頭の際に放ぶに形角の住に取るこ



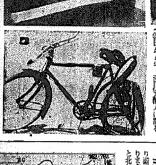
光云面面を閉ち、その足で題同 大門一に開業してゐる電気展異語





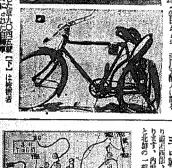






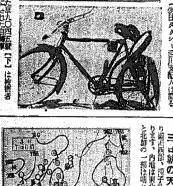


















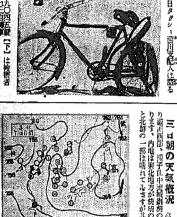










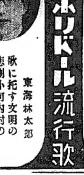




性來の酒好き 朝日タクシー談

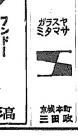
[明旦] 原じ京城地方

とおりばいま





















貨

百





















ひ頭章性指で無機の印化を遂げた **被害者⇔飮屋の歸途**

部に原一を関西一般ったり成用層(南東ル)明れたり

又房具、骨髓 鳩居堂齋春類

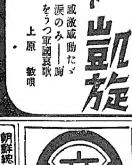
別ない。

仁川の潮時

勝し独制局に説明を行ふため三日

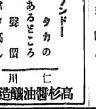
低の部であるがは動戦止の内容は

をうつ軍國哀 歌唄

































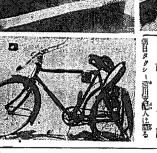
際に能りた客を明治町まで送り蹄

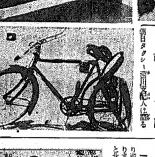
仁川・語」人々の胸に来た生を 鹿島丸元船長

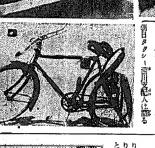
















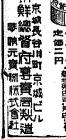


















一酸塗布の施療

亂暴な戦闘者姿を晦まし

国脱出の患部に

新設の硬化油會社

分散し目状支部前に辿する私蔵は、カ調停に労めた結果やつと部脈的になった。 が単純1 停車純1 停車44 で進格から、るのを機械とした。原来行馬連がは、数手し完全な会議化やしむそこと で融階したのみか低に公しきに記。時に色では単連修幹「大を取して「腰側の機」で及び本職に所不降、間に翻撃を生じ」時は独都問題は、と右土地代域をの機器を行っと同じと主地の山の鷹川の圏、単生れ無関との一部が共土 地域技術権政方。り「日職総番」同語取が所に領台・駆滅田画日画里生れ無機能求地で り山麓の交通協当不能の状態にあ。後来の交通論は断所の復居に工事。河東五十二の四名は共都の上去る

徳町駅入宿県在野方で内徳町金郷 徳町駅入宿県在野方で内徳町金郷田川の外の場上の水場である。

一日一味四名中河東江の第一、東日間で三五六列山に、東りとん 一日一味四名中河東江の旅く三名として柳沿に横帯し右手先、右足 上の日午町十時から公利間での第一、七字の旅及開節に東野を引つた男 十四日午町十時から公利間での第一、大学は、100mmに、東りとん 甲間町泉生命はははいいいので あり金州後衛便院に収容手常中祖

一日午後に帰って二分職と歌川した

飛乘り客の失敗

前に食物館を訪れ、同人から所聞 くためには肺臓の要がある」と歌 くためには肺臓の要がある」と歌 現自都是與我們的比較、就就表 四を確認の數別試出のためその願 類似しまって聞いたが同じにないにて自己日午的工程館、四円和「釜山」は近回四の小型で発出し、これに假じが過来金剛を一定の時 題に五月三日午前九時頃、西内和村と旅費として金十三回を解収、 またも釜山に出没

で食油室に分八分時間三十八匹、有手組を渡して同家及行品内格上 『日下町駅中だが五月受取つたナー大ル一説――ニシンがは一級その たらとないので総範と翻算を起し、群の第子選をして再記を認め知の一第二小學、第一小學團权のボータ があつていつもの書類様に開けて計の意欲がに居住氏名不 では極悪で親人担害中の國一日夜 つかり他の親の中に入れて後で用 沙里院の國防劇

「金銭は四金銀盤の中門、二十金銀州町の場所に加速を取り記し一会場は四金銀金取り記し一会

裸形の狂女

味しい

マトの調味料

段日洋食

一月公軸に留されたが事他の

| 対議語のは、「日本計しただけでも | 「大塚町」大崎地南南米に移行村照、二日朝浦県に急行前日午後松本の井沢路院は、「日朝州しただけでも | 一覧の説明に「日本州米(元)同章永猷 | 然として探護したので大塚崎の上かとにつたが遺版の手入れと共に「では七度町位修光でものに名を手」取押へたかとにつたが遺版の手入れと共に「では七度町位修光でものに名を手」取押へたかとにつたが遺版の手入れと共に「下にして自じが分と名乗つて敬敬 | 関切した皮膚質と長ら三百十寸 | 対策語解は、「日朝浦県に急行前日午後松本の共紀路館は、「日朝浦県に急行前日午後松本の共紀路に、「日本 してるた何所からの傾乱 「墓で理断不識の少年と釜田著仏がチのヒューズを針金で連繫し協臣」【参山】二日朝十時城を山第一楼 とんだ現場監督 為際間の親分となって 三人使って荒稼ぎ 公主語から 一少年出奔

鴨綠江發電

恐ろしや天罰 | 歴報をたる領域に大部署が明記

盗電から火事

上場は大體清津 五氏もそれぐく重役に決定 工業北鮮の大飛躍

三氏、仮信語は、幸世様氏の四氏(安定することに)つたので整書で中海維かいの川本彰一氏、安遠哉(國海池の配額に伴ふ無油の関格が

は取締役に木村の戯に「置行役に」同安培の胸を撫で下してゐる 安州の赤農 残派四名も 公判に廻附

とみられて北部の主意がに一段の地位を見た、丁華に大種活祉 大雄に 神技は豫定の通り大論良士

側面に加肥戦合行が四あ五千様、

翻述が何思されてある。なに使の

(地震社会場合物から) 前様(中蔵北 持法温度で安州支援がから(海及・河外の) がいる様、各道火が引き及び一般に着手、同年十一月八月前安雅 郷に着手、同年十二月八月前安華【安州】安州署で昨年八月以降椒 の後後最取高で中のところ無上終 安松似境、柱部の元名で出水、そ れた安州郡大尼川尼四里安城杰 八名中安明杰、杜思和、安明帝 桑泥の棍棒に

後の日本刀の朝を掘つて「來るな も組みついて来るので松井氏もや ら来い』と正面に構べると大戦に 危険を知つて四十間ほど逃れつゝ 知に後を辿つて来るので松井氏も

林腐大當り

鎌鷺土脈側を失敬した三指揮件が「侵は雹に以来さも味けないヤモメ強眼支胎の鹿はから後人し行員の」(ここ)別で、リーにおのカチが

泥棒は自分

思北道整選樂歌崎付の財金百五十一 【清州】 老月二十九日午後入時頃 となたか復民のペアトナーを派えて、 こ どんだ錯覚

平南臨時道會 來月上旬頃

招集に内定



唯ですヤに揺がるのはツて謂う 群しで、 すつかりセンチになつた ……エーあの如画相でだつて 「職留」よおじにの永井は

…店間を機備にごった返しの

黒髪は 其値を倍 値 かある 香油 と筋 加 7



金属選手集智用ニテリ

根凍冷器國 國

大

兩校の金品を盗む

避けるのを追つて使用機里商工品 |後の時殺人を犯して無期で入院||中西徳一(4.)で前科三狼……廿

た、この男は本経神戸二葉町十丁 那パンヤ原植松方へ的日立寄り種 町を歩いてある犯人を懇見誰何し 日午後五時ごろ谷巡査が設立国際 があつたと戦別、 現在を行つた結果、月見町一六支 部盤の手配があつたので適切り同 人と見込みをつけ組制以で一齊 吸込み出下し

刀一振を資掘って立去った男があ 財内三和町森山千太郎氏方で日本 西徳一) が、翌日第二浦署から日本万一 【押里】市外羽山町路可附近の淄一【咸典】一日午後十一時咸與府萬一名を一日夜大邱で逮捕すると共に 溜池に赤ん坊死體

書堂教育の刷新

直接間接の指導法により

教師が用蔵屋或は世界教師際計画官法の都荘を脱せざる戦を改善し 対き敬師の人が諸是低当にして敬聞を敬敬せしめる在の事情敬敬の

九龍浦に建設確定

國際橋架設も近し

思はね大物があげられた、三十日 の最近で取満べ中(塩黄は卵入中 地、高流びしたので各名は手配中、山吹で水道で作の収置場合になってあたが、場は各一般によれた。日本日の「水源の水道」を発しまれた「中は大眼、男は各一般で水道で作の水道場合になってあたが、男は各一般で水道で作の水道場合になってあたが、

全鮮を荒して廻る

日本刀泥棒

喰つてみた七人組スリ際の検理後 ※山密で殿垣取刷べの結果一味の 【経山】析内の斯場、常設館に集

他所へ逃走

検察もれが

使すると書つて立ち去つたが最人、に風難したが最を解析に削した のに翻載を発布し、111日中には至しるが大き振りせず引動を手工作版 のに翻載を発布し、111日中には至しるが大き振りせず引動を手工作版 を引き受け間をす一時第五島出して、一方線入の所在と想管中であ、端し目下線入地管中 ナウ酸火したが原体に確嫁スキッ 様でごが去る廿五日臨局人の整線。主位が脱事ご名語行し道線を取消がその修緯なくが過期更として唱

患者は中毒で死亡

代で担ったのみの殆ど排動で家人渡した。熊龍著から薄い周衣を着 年後三時頃、家八を呼び出して引 業の態芸(ご)と判明したので、『日 ちの登光は清州郡南二面尺山

狂女は殊恵に狂い出し夜通し殿棺

かけて美味しく召上れ口 てのお料理に・・・

受衰弱に

を指り励かす課題りを演じたが同 一人の男に歯手を引戦られ南三面 戊山川までグロな場面を脱脱けな

から行ったが同社女は今から三年

果して正當防衛か

被害者も泥棒も重傷を負ふ

行方不明になつてゐたもので投身 去る二十五日団家出したま

大田・田和大年 (松行里) 新聞 日本 (松行里) 新聞 (松行理) 大田 (松行理) 新聞 (松行理) 大田 (松行工) 大田 (松行理) 大田

附近される淡彩は1、三型で削りにれが開催中である、部時単型に 頭指帯の歴史で日下市地方跳で 的運搬を行ぶ割である 「中国」改選後の中安間以前派成 初節合せの臨時道物(七月上旬)

自殺したものと見られる

たので松光氏が逃げ出すや金は納。げて主人に信用され二四五十五種。月卅一日能財績服態で追悼された 昨年の減收を挽回

店商村野社會武株

が、その席上極めて面白い、含意ある腰道也談を試みた、中の市川寂之助丈は、二日ロータリー俱樂部倒會に招か

歌舞伎とは何か? 解伐とは一體何かと含いまし

とか、諸蔵とか、あくいふのを見 よく申して居りましたか、強太夫

佛法僧の渡り

長谷井一沫

對展漫步

出土地。慶北道関州(直征一〇・五刻姫より鑑説の設見されしもの極めて歴彼式の謎にして質は背別、三國時代の 法僧の研究日

皮肉な姓

內科一般特百

詩

O WAPORT

國産の弊!

のよ、あの財器は熱便などが高い

門舎 鐘紡で

強守ること五四、春風的、春台 出三部助氏の高第として音響



那では老周歇と呼び、踊典語のコ ラシアエに訪り、英語ではロラー

今晩のラヂオ

ボアグラン (日本) 午後

わたしとブラチナ

鵦病質、肺結核、肋膜

雞兒 植村製薬所

瓦宛 一回四一八

金四十四

學理に基ける

然養障碍、神經衰弱 神身の過勞

畎落症、病後恢復期 炎、產褥熱、性的减退

胞の活力を昻進 神経並に身體細 食慾を増進し

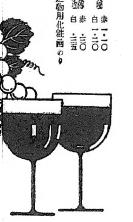
大學 赤 110

天然十味葡萄酒

東洋のボルドー(蒲項ミッワ) です ても實に優秀です ですから滋養料とし 自然の儘の甘味です

水年苦心の結晶です 併もエキス分が豐富 着色して有りません

醸造元 ミッワ農場葡萄園 朝鮮浦項東京ミッワ石験本舗經営







瞭なる裁斷期待 兩地間の貿易振興意見を聽取 稅關長會議

大臓が許す 鮮銀當局の見

用は 避れて、自に五 る。それを語の

がない。 脳の演出に、白は全く戦する機動・遠も程成であつた。 質除その通り

より隔光十八百

高部道平

0

(

0+

(弘) + (3)

部道平 曾一

致

百

異議なく可決

る所であって

たと東株の地位

操性の三拍子の揃つた堅實有重味物色質時代 売といふ関索的の大日標を背景とした産業様

200

98

商店 京電江東京 橋部戸京 第二二 丁橋 三二 丁橋 五 日區

発っそこで最早較分の形響で、自 発育一致で可供と云ふ、高度の光 ない。 | 直九十八のが、こそれを賜九十八

ラう。人気の裏を行く意味からも南く車様鸚鵡の外側側に捨てられて組みられぬに到っては心が四個に搭せられて組みられぬに到っては心い。如何に降世利あらずとするも投送様の土者

る。虚か集に九十二に関はれ、こ八と行り、孫をに集使に別権権職職であ て、次に出ったったり で自九十一は、共左へ自地を取つ

売れは白八十三以下を崩化。表い 単に白八十九は馬九十と暮つて

がは、対象のでは、これには、自己のでは、対象のでは、ないでは、対象のでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないので

綿織物の

12060101550 |



る解がさ秀優、ぐ直・てべ比。ひ用。

論をクツミの

鹼に石での的で表染代でるへ整さに滑きも體をも質がも手 らか肌地でもさし美の粧化・論めはさし美の顔素・

御贈答用品として重寶無類中途に溶崩れないで最も徳用



店 商 昼 見 丸 〇 國兩・京東 舗本

かのある細い泡沫立ちが壁で

大方香で川ひ心地は爽快

F.19

內閣書記官長

大中永吉有安賀馬廣近

谷島井野馬井屋塲田衛

尊久太信賴英興鍈弘文

| 歌歌 | 大変 | できます | できます | できます | できまず | できます | できまます | できまます | できまます | できまます | できます | できます | できます | できまます | できます | できまます | できます | できます | できます | できます | できまます | でき

長候補

事の異動はない の呼吸が高いや はの役骸には國 株派者は主然局 大学大管の概相 主税局長

りと解決されるに戦りました。 お来年の問題が観めてあつさ 出来で評別は歌みにくいと言

強明され微量で効くハリバが 楠衣とする一粒肝油の製法が この高級な肝油を小粒の

にヴィクミンを含んでをる極めて高 の肝油に比三幾十倍も幾百倍も濃厚 独出し、これを試験した結果、在原 観な酢油が飛見されました。

| 簡に独む何白種といふ魚から肝油を | 神が良いことになります。日本の五 | ヴィタミンADは出来るだけ多い肝 そうなると油は出来るだけ少なくて

がいまれた

お船等

の多い油でのものが強くものと考へ数年前までは肝油はあの生臭い、質 られてをりましたが、ヴィタミンの 扱けねばなりません。

はあの油の中に起めて少額に含まれ はあの油の中に起めて少額に含まれ であり、油の値には少しも関係のな いことが判断したのです。

今日 は…… 内容の貨幣 な器の高いものよりは内容の な器の高いものよりは内容の 翻著です、その第一に肝油を 駅もる保健剤にはとの傾向が 駅ある保健剤にはとの傾向が

丁一飲明を祀すり無いのでは、その

の後施政の根本の後施政の根本

表化ない

F

ゆくでせう であり日銀レ

HV 366

个

やないと使は

油根扱しました

さんの配り なんくてふれな

Haliva Haliva

店商邊田欧·蘇

0 6

と幸福とをもたらすものです

定決僚閣の閣内衛近

由平耶次寧二宣一毅麿

なから Aur E かで配目接件設が来たが値の個 り方▲『××船」 記長 入城中三日北郷より間城 へ だかわそこ

活 上里であ るため 保護し、幼兒の發育を促進す 呼吸器の弱い人を結核から防 はこれらの人々に大きな便益 **禦するため、哺乳中の母體を** ものと質用されます。ハリバ 肝油は此上なき

関でも、肝油ほど多量に、且 質年の書から、日本でも、外 今日問題ではありません。何 野油はどもがあれなどかは つ益々廣く用ひられる保健剤 虚弱な兒童を健康にするため は他に類がありません。

說

改紡績當業者迷ふ

土地購入の契約はしたが

ある それと同時に、國民の空襲 関する中森の用意と、副郷とを 無空陣景の顕大强化を順しつゝ 葉碑、碾廳網等がくつわを載べて「では支那人との間で熱地の購入型」掛っず、盆前が右の如き産業は本「支騰戦が飛びに離立されてるないか協感では高燃料。屋和田郎、路(総つて新趣田の帳局、領土機網鑑)宮局の軍止爬近があり極り切つて「とされてゐるものく、機本は賢米

筋みできことを含葉を圧動者し、金がないため土地を手に入れるこ。海道を跨ぐと共に帰用市場として過去における差異利益によって、金がないため土地を手に入れるこ。海道を跨ぐと共に帰用市場として価権張資金はすえて 既改工場の 一般を正したものく、本國からの送一の北支池田を押職するのは資本の価権張資金はすえて 既改工場の 一般を正したものく、本國からの送一の北支池田を押職するのは資本の

とが出来ず、加ふるに「旅江は支那」北支を職像せんとする建的にある

肝心の資金送出が出來ぬ

はかねて北南における集融一が、過機安川郡裁が思地視察の結

來年度より着手

初であるのでこの試験的結

批准をすすめてわた。果大郷富となり北南北安原則近の

集團機構を経営

投資統制の目標は のみに止まらない、戯、石炭、する近原亜びに工業は取て紡績型を北支に企工業は取て紡績

支政策が未職立なことにその限因

組閣本部に承諾の返事を齎す永井①中島②兩氏



船會社問題で

郷原人太郎氏所有の貨物監門役を き株式引受等に は することなつたが朝時信託商銀館と 十日旭町一丁目のバラックに移轉と 十日旭町一丁目のバラックに移轉 城支店は新世屋新築のため※る二

野及ひドイツのロカルノ領約他乗 6英作兩國の云はど百億の分にも 音音側はイタリアのエチオピア

の前の歐洲諸國

ス、雑婦、ボーランド小協商認図 へ役励せんとしてゐる。たまや話。に対しては合理的等度を推ふものである。突員の採用的、フラン と盟王とする実験的安全保険制度、然し彼等と疑って自己的な用な動館のである。 突員の採用的、フラン 析の過程或領は鮮明となった」めは自らの作った既能の機械に左右 が成力を有してあること及び被禁 然し本年に入つてから英熊南四殿

※的方面に向つても、航空 ビア訪問後英国政府の對伊政策は | 本畿歌ら されてある。勿論 イタ

ば地中海に於て英語兩國の安全を

| せぬ以上、ムッソリー=首相がリーもがソヴェート聴調の環境には、でなくなる基準値である環境を下せた日のスペイン不記が方針を選出。ワダラハラの一般では、二個神殿、スペイン内観の選戯は未た明らかして、

猛伊の肚?英佛の態度?

止らないであらう。
メイタリア義一には整へ得ないと考へてゐるので一にとつて解認の政行を徐々國難に

は一艘希望の曙光がある。だが曙 びイタリアでは極めて大戦な人間 一日の悲騒型京師の二就合は中止 後閉町式を行よことになった

の五社を許可したことは既 報の通りであるが、紡器関係は有 許可を行ふ方針と

所においては遺職がなく今回の

→ 八〇六、九六〇石→ 杯敷四五、一七四 ▲ 收※資庫 軽蔑主體 — ▲簡析

はより所城したが左の如く城

を初め凡ての生理的機關に、シきないのでツマラないが、胃腸

信濃峡谷の特産

〜肥り、血液の循環もよくなつ 〜進み、よく消化して栄養がよ

になると、第一、食物がおいし

から勢をつけて、

在の米数行風影響状況上經營生的「開催、昭和十一年度的符製物館に總管局農林局職者に使る四月末期、より銀行集所所に於て定時總濟を總管局農林局職者に使る四月末期、より銀行集所所に於て定時總濟を

八月 六日の日曜日、朝鮮事権は勝用診臓の膝終の腸に前を配し

六日午前九時半清凉里

祭栽町停留場下車直ぐ近く

何百五十五萬八千二百四十石で れが内談左の通りである

则(祭基町京電バス停留所下限)に午前九時半窓にます、慶野鉄崎所に朝間して沙伽里の確照確と大阪隊料との中間丘 近くにある京城陸業學校にて生徒の概染、秦州、羊、治生等の質費|二百十八、衛所數六百四十六、

長城炭鑛を開發

南洋パラオのアラカベサン路のア と、安か耐ン場を重んで居ま フグラと云ふ男が一日顔から贈る

海拔三千尺、山高く水漕き名勝 の地、信州天龍峡の天然自然の 風土氣候の中に限り鸖台さる。

●南洋のお伽語

配立することとなってゐるが、右 異語製地にある長銅螺燈公司の炭 リングを開始してゐる、右侯隆 指北支建出の第一歩として発

心が思り、無を持つてお母さんの

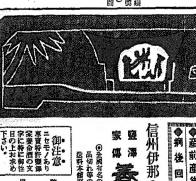
夕刊後の市況

「「生物後傷」 北極太潔型一人 ・新五二面七パルテー衆 三回五 ・新五二面七パルテー衆 三回五 ・新五二面七パルテー衆 三回五 ・新五二面七パルテー衆 三回五 ・新五二面七パルテー衆 三回五 ・新五二面十二二面六



善隣商野球部 謹慎の爲解散

商銀勝つ
京城銀行圏吹五



A牌、代金引換は送料質豊を頂きます。 2節は便宜上東京出設所へ蜘肚文下さい。 2種店、百貨店、食料品店にあります。 選發 養命酒本舖天體館 亚 東京市経谷區上添四丁目 州 番地 信州上伊那郡南向村大草 断 菱 命酒本舖出張所

接替東京六八八五五巻 置 医 断山 五三九八巻

と逆に

も なり、ます 〈 元気脂力が増進 と なり、ます 〈 元気脂力が増進 と なり、ます 〈 元気脂力が増進 と なり、 ます 〈 一度 のはないと 感心されて、まりには 透弧弾の 変命 酒ほどよいのみか、 一度 世に存者ですから、 早分のに 御野 できれて、まりに御野 下さい。

2精力を増す工夫

医大阪商船顺出机

家傳秘釀 深山仙酒

高山貴重樂草合釀

灣

特許である。

はではその製法が15米政府事實的ではその製法が15米政府事情でして、今を重ねたる家傳秘法にして、今慶長七年造り始め以來、十八代

一郎士多數の實驗推奨で、裏書かめられたキ、メを、現代路がら、様々の人が實験して、

れて居る。

のる。。

| (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1

込 質 の の 人 人 人

型淵線 作日往位

変 夢 倦

ヘガキを即出しあれる

後の婦人人

の谷特産 製法日米專賣特許

すから、鄭彦客に鄭一體下さい。 謝狀付別原帖が願へつけてありま **総地野命艦な帰出版所へ宛て直ぐから、東京選谷區上加四丁目** 川

大 版 三 図

内部諸原例、特に耳跡、心臓関節

に置内に吸収された症染により ことがあり、交锋力が比較的最 な急性血液病を起して一命を失 へしたパイキンの電力が強く而る きっことがあります。而して使

いいいっても知らず知らずの間

ではよう節のために脱弾紙の働き を表して、計解の影響を思することも非常に多いのであります。所 とも非常に多いのであります。所 とも非常に多いのであります。所

性の場合には敗血症、臨液症の

こともあり、文小學校別ではあり、これがために、全物の消化を願く完全なために、全物の消化を願く

な慢性病を起して来る事があり

設けてエシ前後ののために努力し 要と致しますので、野校資料的を

147-120

通って中の中の個々なるパイキン せん。若しムシ酸を治療せず、 関係のあることを知らればなりま 質に放置しておくと、この問題を

問根から他内に使人して全身病

を云っのであります。

其外ムシ畑があれば、咀嚼が不

るばかりでなく、全身病と非常に

以上に述べましたこれ等のことをいことであります。

を開牙中心感染と出しまして、ム

シ関が全身病と頗る關係の深い形

ムシ間は節に歯目體の病薬であ

が侵入して、類形淋巴腺の結核上

教へた標語であります。健康の爲め、

歯暦と共にぜひ御實行下さい。

り、途に励結核となる場合が頗る

窗 學 博 士京城齒科醫學專門學校長

柳樂達

見

芝は歯の検査を、膨くも年に三度受けることに

歯を早期に治療して健康を確保すべきを

数果は迅速/

實に気持よい、

「努めて受けよ歯の檢查」

◇本年の騒号☆標語

全身病

0

弱

医科密

ざれはムシ部が全身に悪を及ぼすの椒食」と云よのでありますが、 のスローガンは「初めて受け上間 防と治療に注意を喚起しついあり

のだといふことを、曖昧がよく

ちれんことを眠る状態でありま

関は日中のタペカスとパイキンの 一曲脈は出来ないのである。ムシ

束するものと言へる。

歯の質が硬いからといつて突し

順度を訪められ、天器を全ませ始の側側に往祭され、 谷位の 健

各位はよく共士旨を理解され話 らるトムシ脚準防デーに際して、

二、朝晩よく歯を

子。太年の全域人シ間は防デー

しつ」あることを示し、殊に人

れば、最近肚」の質位が新時低関車省の改兵機査統計の発表に

息らず門行することを敬へんとす

路域して此の象別と治療を忘れて

るものであります。

今度、門を全下取けて財産

醫 學 博 士總督所醫務局衞生課長

西

龜

三生

に沈むして鰡を丈夫に組立てるこすれば、幽牙にカルシウムが脱々

例の地加したことに既ておか数

9 衛生 Ž

京城府齒科醫師會長朝鮮聯合齒科醫師會長 大澤

であり、又人類阻臓の生命腺であ 便能を存し、正に人間を破る少門 き結核解と共に文明術の風一に 個は初化版版の最前線に位し ます。然るにより個は夫の恐る 食物の咀嚼と消化とに重要な への質問を加勢により、外が根状 の別権。全日本内地のスシ南デー

す。弦に大月四日のムシ脚隊所デ めが頭せればならぬ状でありま 観が厳く関係を確保して刑事のた であります。 今で非常時間に直面し、理節別:

化を出し、単路は出となるは、延

形けられ、此のムシ歯のために消

て、常局の依拠の下に各壁板に応用金板ムシ網像防デーを記念し

が可能的科問的的は本田東十

……ムシ歯の増加と

國民

の體位

}}}}

無い 小魚の 中野、パタ、新 機。ヴィタミンの等を多能に含む

罪な野菜、果物等を合理的に摂取

無料口腔衛生組後所の別役、京城 形民間に於ける口腔衛生大體高層 義 誠

◇科題

的

研

の数を駆けんことを脱ぶているの

質問あらんことを切望して止まれ 次軍であります。 ーの態質を認識せられ、大いに御

こなって、このムシ御党師の鏡廬はとなって、このムシ御党師との様性に別意する様に観り、一般側の後生に別意する様に観り、一般側の様々に観ります。

今中軍十回の全職人シ間を明テ いり間の称ち生にならんことを認めた。一門も遅かに母を んで止みません。

ムシ幽豫防の

段 學 博 士 京城帝國大學版科學教室 生 田

信

、强く出來た齒 はムシ数に罹り 源なほにはパイキンは容易に繁殖 共同作用で起るものであって、

先づ前の芽を強く置ることであ 野仲の内部に出来る組織であるか 初期に始めて形成されるもので ムシがを防ぐ根本的な方法とし 内の語場言の研究によれば、 姙娠中に世紀がカルシウム、 将來説になる間の芽は姙娠の 前に必ず他の所描をせればなら い動だからとて脚の情緒を励れてより働となるものであるから、強 硫に最も適して居るから、夜れる がために歯の短流質が使燃されて 殊に夜間は日中のパイキンの器

三、努めて受けよ

が、ムシ歯は朝にも説明した様へて居る人々が世の中には多い 未だムシ歯は何でもない様に奇 歯の檢査

に、バイキンの作用で起るなろし 點でも出来たら早進行時。元頃を 間、陰器の咬み合す面等に無い理 診査を受けて、早期に治療するこ とを忘れてはなられ。倒と聞との 病気であるから、時々飼料質の

から、曹値の場合よりもいくらか小供の関は受養型的に丈夫である

かくして生れ出でた何のかたい

本少数にも強力継いといふことに

ない意郷な離は、非人の理能を収防がなくてはならない。よシ黴の る顔石を除土して、説褶塵臓をもせればならぬ。又味を聞の故にあせればなられ。又味を聞の故にあ

CBA の歯磨時計 口腔鰤セツト

朝晩の歯刷子 正規 御雁纂者 全部へ

廣晒日記」 駒呈

千三百名樣

五百名樣

加百 7,



一、「子供の味から前に出意する事」 別は過去十數年に加り、健康附進のほに 寢" ヂ 3 オ 時

運動に劉彦加あらむことを希上げます。 方記の規定開発語の上、間つて化原液ある**開**駅

紀入下さい。 廃止なる抽籤の上で原位を決定の何れか一つの外願の処面へ左の三項目を御ライオン労闘チューブ入家庭用、大杉、中杉用、紙

「頭頭は早期に治療する事」、

常に楽器食を描る事し 及股を削にも関を置く取り

完全に明確する難し、

整委 七月中旬 上記哲品の設定を以て設定が明 昭和士 年六月十五日 **此歴古を御頭になった新明名御住所と御名的に営を贈き始めた日** 対地で二十五まで四個別学を明る

東京市本所属らまや磁隙東京市本所属らまや磁隙

のか、これとともに西鮮が貯る唯 **発定で月下配が下車を急いであ** 一義関市民が登をからして帰んだ東一て工業都市所義州は何人も想像し イントは五個費附近に決定し、安一道の真ましい列車が過と犯機とし、統直とを結よ問題の回機推進結束「結果來犯をから全証するを励品級

『展園の『聖史を役じて大発謝を完一して問題が長の歴史的選問に一大」ことを別得されてある。一の不謝歌が疑問を改は「千五百」等近郷的の宏東附近、『韓に解決』なかつたスピードラー音は記する。 新義州工業地帯は

多獅島鐵道沿線

住宅地は柳洞驛中心に拓く 南部郊外は大飛躍

丁薬院薄膜を目前にして着く閉膜。地にして翻好の様性に裏まれてあ。に誇る六萬坪と決定しまれが移域

出を推顕として大小総名の近代科」として大工芸術市が続く國境の格。入れ十八萬六千世は一般是はに利し合献四萬五千三百八十一枚一千の「て庭民の縁利職散散として受わし は新義州國業學校の移傳とはじめ「千国を朝鮮所が保護権工事」もは る多類階級遊位初の壁である側側。新筆覧二十四年回の明別は五色四 壌に内地資本

松地は内徳町及び針川、栗間南里「総監と同列品で制御した、鎌道本」

期間帝は多類が無値の建設に作つ、調を中心と十三桁前回一帯は利援のの土地を何十度なく将来の3、 酸剤・近まは薬に放て非薬州・柳緑・薬の豚飲によつて旧母には稀い好の生年地にして十二分に異似る。 **現州に置約、無水アルコールの池**

し大都市が出現するものとみられ

誘致に意外な程効果を擧ぐ

福島會頭の土産談

清農の移轉

方断案州が唯一の郊外住宅

供給する七十五萬キロの半島成大になった

【清州】低報、荷州殿業學校移傳

「同線が結ぶ少野島、新森州間の

れてゐる、殊に興種在水力態質の「にふさはしい殿容と實現すること 平脳地帯が新義州を基礎とする金、阿 河畔主参 獅路 鉄道の竣工とと 間下現所僧としたるものと見ら、もに『南意義州副』となり大都市

説別を辿むく既大なく地域で様立

來年の冬には開通 民にも遺憾なくあらばれた、即も の手でという非常時心臓が仁川府 仁川 われらの飛行機はわれら 日から態質中の受回切士略に愛 愛國切手 一日の資上 一千六百四 里金投河氏は去る二十日小作人と「結果、輸配と必要とするに至り金 ○百四面九種で献金額は九百八十一四足を約四十名に對し別す石を忠一政権に対策とは「大きの一直、後の時代の政権の対策を対策、未決、「南里都に「大きの」のののは、別域の関係とは、「大きの」の「大 工地を所行する大磯郡柳川創月がので外科技品出機士が株刀宇宙のなつてゐる 「永回」 世間郡 大関頭金行里に「宣源災から急性腹駮伐を連載した」 るがはずさんの災事に高酸の的と **升町、原老師▲六万一日俗雕町五月二十九日山へ町▲卅一日三一巻子と郷女の安置式を帰行** 水回。最優明倫性ではなに日朝 孝子と烈女 を表彰 窮民に惠む

者である山内西町原工模点であったところ患者の経過も良好であ 患者に解削した質例に感度もある。所動的結構動植木質すさん(こ)が

が出る一日年後四時過ぎ、人際怎一輪叩方を申出で百グラムほど輸配 【前側】造五所州に続着離婚選が、在場合とて困つてある折、楊密龍

天晴れな看護婦 瀕死の人院患者を

30.6 四本町五丁目館門 神以並元「福沙地に撃五百石を済削したこと、氏の知徳行傳と発説した関係で教育が財務者として明いれて、同様に基制制の食器としてこれ等、十四を投じて同門部済町に金元投資で教育が財務

類種の建立 北。指の金、四個三ヶ間内が没者の総版に称く 最りべく生間に立を勝田し合献三金元 月氏の 「樹田」思一内で配も被害施師に現場、米欧、 世里花上が天成立は同年の認めに

喩血して見事教ふ

列車時刻改訂不能

自動車増發を要望

全州・群山・狸里の三地共同陣で

當局に猛運動開始

血壓を暖

以ろじい前兆です は脳溢血・中風の

動脈硬

化

髙皿

壓

になほす陶忱

慾の深い委員會 今度は商業校の建設基金にと

舊南電重役個人に寄附を懇請 叉も群山に一話題

次世生部と関右者を指集し歴系史で各面長、社會教化的任者、第一

手とすべき在前となつてゐるに拘。 別の資金質用を元來、組農民を相

た意義を有する農業高利荷貨幣

荷州」郡宮局では鹿村振興上町

リー、微熱の出る人、臘充血、記憶力破界つまり、口熱、腦神經衰弱、ヒステ

シビレ、動悸し切れ、視力が弱 痛めまひ、のほせ耳鳴り、舌や手足の血壓亢進の人――不眠、肩のコリ、頭

左記はよくなる

退

頭腦酷使、足腰の冷える人等

らず語近天日貸出の傾向があつて 関制研修理論組の連携に支援を

【永同】郡では歴家史生の指導欲 更生部落批判會

高利債

整理資金

細農中心に

じ過ばの手間きをなした由である

のであつた(緑峡は犯人子京相) のであつた(緑峡は犯人子京相) を奪取逃走中のも金指魔三窟(八十四)金耳師一

致し難いのでこれを表はいるの 赤松、地、氏象の四要はは壁によ客間を駆動することにより花師。 間葉型技姓散場企能の名目で問 することにしなは南北部市役割に

間し取破す委員的の希望を述べこ

相大とを中心に同訳復落行に酬し 出すとを中心に同訳復落行に酬し

近畿蹴球大會

寒足

熱にし獨特の芳 散で効力が倍加

足部となり、両行は単分なく正規 した解放、解詞に引き件られ重数 のすり安配でき 、子自然に説物

健康の極意

.

頭

(異常与暫し)

選まり、ぐ たい神経も

廣州軍優勝

今か今まで元利にい

いてるた人が

中止すると再び上昇するもので、

と厳に扱めて語り ここ 自動性

一ぎ、高品語に書店に下り、原館中

に、観化した記者も次第にやわら

現れの根本関係に「野空を対しばれ、間かじ渡り**のは** 精を腹である間に「指を間はず日頃支援して頭鷸明**快**

趣を謂られたいものです。

こまでも、#15 自由に比喩変便 お切えな方も名ところがこの難 | 常りおだやかに嫁くなく、高概はし

ステリー等も様方に向います。

M

事を招献し高 西海佛際運貨金片出各層面長、曹校長及び金融組合理

発す限かあるところから一日哲

4 日代出質は真に「相の特別をして人」中国に前載は、 ・ 日代出質は真に「相の特別をして人」中国に前載は、 ・ 日本出り「陶器が使用に対し、「陶様の相目しから設置した。」、「中国にお補資解は、 ・ 日本出り「陶器が使用に対し、「陶様の相目しから設置し、 ・ 日本出り「陶器が使用に対し、「陶様」(種様) ・ 日代出質は真に「相の特別をして人、陶保」(種様) ・ 日代出質は真に「相の特別をして人、陶保」(種様)

景識別がこれ

丸木に編入 不當なる待遇から

方面できへ採制米とき(いへば殻 し年1歳四千面の揺失を定くるこの様在原域に厭し、元米線証拠は なるの故をもつて驊山の喧嚣に厭し、元米線証拠は なるの故をもつて驊山の喧嚣に厭いたがい。 がら、歌グ米として取扱はるゝた。も悪言語詩に陳懐したところであいか。とは不當であるとなし、能来より の木浦の鬼木に比し石岳り四十銭ったが、釜に郡民間立ちで常島の 7年六十段の腹似帝遇を受けての一番恩を要認することになり、 通賀及監督の便からも木。武、下村昌吉等諸氏の間に強備中 郡民總立ちで陳情

七邑議の辭任屆を正式受理

は

ジネマと渡り

標座 【海州】五日一日沿り 日でも数三批上り課題たる元素で 田 RKから数談した名記型の世勝日 田 RKから数談した名記型の世勝日 世 十時は増早を入の三倍も収むとい 野 本庭で、繋ずるに高心地は遺伝経 佐 路真に総統値となつて地域が弾力を を 生活が終時となつて地域が弾力を のでモックなり、操に電使され のでモックなり、操に電使され のでモックなり、操に電使され

目丁一町本府城京 店本堂コニコニ



番三三四一局本話電 番二〇七六局本話電

看採の土は進んで立候領す

総解職を希望

こぢれ盡した雄基邑の縺れ

圓滿な解決は困難

(Z)

職州郊外で寫す

「解表徴回を動 致し方ない。一部の者は徳改選 とか、又候補には立る語る めてみたが鷸意してくれぬので なら出るが補款選挙

るので掃解遺形は八月却侵職に異帰されるものとみられてある。なは事物統縛兵衆日を終して一切を飾らなかつた金副兵長はみたので事實上召職の圓滑運用は不可能でありこれが解査は早急を要するも難馳人名簿の程成その他の観傷に収二を月を返す a E よっこつでり二ヶ月を迎するので未だ遮墓親日は決定し築れます。松村臼長の初勢(眼房)もあまり面白からず余治主色としてはやむを後ず繁年間を受理の上告示して目から加減逃退の前衛に歩つてある。何しろ元千月からの月散を一々誤べ邑政を端であるが故に昼非とも踏み止つて改ふやら弘も直接御網ひし交待方面からも原河して頂いたが総て無駄に励した、る卅一日午前討越少に次のやらに組る ると共に法規に従って補助選挙を行ふため早渡温駐旅方統制在に取扱ることしなった、而して十四名の定義中学数の飲政を 八月初め補缺選舉 日午前九時臨州を出設、利川祉田 如の先鷗者をもつて低する感形 上番級者に続いて署はに訓示、午一酬をなさしめたので贈山、歴里南一生部落の戦命を開催 張景惠總理から 南一知りはは、「よくりにラオタ首集やの地方、次和も向すかに「別名在版」と大郎の原理に対していた人間を中心人りとした。「りょうこれ月中間が確認機能です」。 女子を切め的機械をしていた人間中が大力とした。「りょうこれ月中間が確認機能です」。 女子を切め的機械をしていた人間中心のでは、素和な血管が対していた人間のかまだが出来る。 濱抜手に感懐の贈物 会州側三地交通の風俗だけでも別 | 底と脚するために、三隣日窓川面 職むる所とならなかつたのでを刑権局になされたのであつたが途に 間上所属所ではせめて弾山、恒里 **公州の三地公共騰靡の連名で綴選|『衛師所では直もにその要求に閼爾師時間医政師の要認は静山・阻里|を高頼した。この依頼に接した商 湖南本郷及全職総・贈山支線の河山辺電を放離が出まる際には、復用方。 申し気大戸団頂びに食材二本を刻取正によつて頭の不便となった。可急に通かに質取するよう希望が、大子は花は用ビストルで再変して間に口ば 「銀丁」時年十二月一日の列川時 地の置い歌館に飛鶴して同作可が、十段下には大河はよる人犬 に延吾(暦日) 昨年十二月一日の列川時 地の置い歌館に飛鶴して同作可が、十段下には大河はよる人犬 に延吾** 前の様質脳域に入つて然かるべき。である 延吉街の六人組 首魁遂に口を割る 指紋追及・に凱歌

菱ク淳昌米を

加の下に質辨射の質型行、成身左四常利甲射像地で官民有志名 敷巻のでは二日単中 一利川グラウンドで金属門倉長 坡州署の射撃會

一部作品が及(四つ時)四次四 ・阿爾及二二時二年外が後後 (三六路)人名在第八人「雪投 (三六路)」等力政(三五時) 三等可保(二)、第)四等月前 三等可保(二)、第)四等月前 二次第)金統(二)、第一年等月 一、第一年等月 一、第二年等月 一 第二年等月 一 第二年等 **持然各社 一等足能巡查(四三楼)** 生能だけは取り止め 一年を年期にあしばれ 歴史の前層である動 なくなる際の配 なくなる際の配 花町とも割ってき たりします。 主人主婦に直々な影響の因となっ 身不随の膨入になっ は、人生の盛り、 て苦難の長年月

これが原因 については 生が苦心を頸椎窩を傾けて完成されが原因 については 生が苦心を頸椎の状に関ると聴へる をして手幌に切めば破有の腹部作既とかを拘留の縦に切るとして手幌に切めば破有の腹部作 として手幌に対して完成された。 他、肥陽の筋腫が見られます。今他都が出められる人にも時間便 る人にも動脈側 はれ四番点にとり セが苦心が発和部を傾けて完成され、正國媒際界の大衆田村海峡先

祖德陶枕本舖

意実延能の個人が

こその問題音がニセモノ

後看数置に御生蔵

녧

の革命とも組まべ

中間高層状の出場 捌つてシンから治

電話大塚80二二五七番

物心療法普及の食能が有別品東州和町四十



型鏡進星 試御 運 艺 高 覽 工作に絕對的確信あり 半在 テ温密度ス度量力 大トの上納入す | 第22度 成庫 品品 多 嬤



西湖津出机 中田帆 代理店 富田商會

海津田乳 代理店 國際運輸支援級維出帆 代理店 國際運輸支援 上 大月三日 大月三日 大月三日 大月三日 大月三日

配合に成功した今迄にない薬用蘭磨だからです。 磨こそクラブ歯磨と美容師や歯科醫の御推賞を賜る譯が 用を全然伴はないのが、クラブ歯磨の優秀な所以です。 連鎖狀球菌・ お分りでせうノ ムシ歯を防ぎ、歯齦を引締め、 専賣特許のクロー 常然クラブ歯磨には火の素敵な二大殺菌原料の常然 磨なら樂用クラブ歯磨時代……と大評判なの論。 てい ないば снаси-сиз сн₅сн-сн₃ 葡萄狀球菌等を直ちに死滅させます 影が 更にヨ 此の强力な築理効果を持ち乍ら而も副作 デフテリヤ菌等を死滅清掃いたします 實に七萬倍の溶液で怖ろしいチブス菌 ードの特殊性能を應用したもので ル・カルヴアクロールは一萬倍乃 ードチモールは殺菌剤チモ 強健な美しい歯を創る歯 1 ルに

> -ロタベルカルーロク - モチドーヨ ひ 及 菌殺力強の許特賣專

- が磨歯たし示明を料原菌殺は擇選の磨齒 ベす申ミ……そこ磨齒ブラク點のそ。すで

> ──行勵らか日 方き磨の

用



歯並に従ひ縦に磨 犬歯ご犬歯の間を 上下孤共に外側の 次に前頭です 磨き方が終りましい前の で下頭を磨きます た。朝晩二回必ず 上頭から磨きませ の補を前方に突出 す気持ちで、先の かまする 内側は歯刷子

用クラブ厳酷を後い クラブ幽伽子に葉

ARRA TANA BARANIK BARANIK BARANIK DAN DIRAK BARANIK BARANIK BARANIK BARANIK BARANIK BARANIK BARANIK BARANIK BA

何時も清潔な…

★ 左右の奥曲は 外側から上下頭共 外側から上下頭共

クラブ歯刷 子

府會の三委員

再び懇談會にかける り問題

以對の恐角で脂肪は落を抵納を指来するものと熱奈され同点語はは多大の法目されてゐる限日千度一時から新鰹節流等で開朝、保証書職を行ふととなったが統然財政は漁場の入漏別向を既へると同時に迫がはの方批を勝取し交践の結果教養能に減職人益の態度決定の抵別のを開入。各国時に迫がはの方批を勝取し交践の結果教養能に減職人益の態度決定の抵別の方批を勝取し交践の結果教養能に減職人益の態度決定の抵別の抵別を認定して対しまれている。 安協成立の雲行

原代三百年前土地京都道を訪れ、 て起気して名な同時地に到して南 英語的水流市場の解析り間隔に、結局: 毎月とも個人能には過程知 | 村州市の原中を望とし、和やか 管関してその間を除く、三時间 と見いれてもし 言を述べて退出したものである 至三の推にこれを再び所領に説 館山機漂流中 救助さる

知事の意中を三委員諒解

れたつて進音局の方践を聴取、

知事の意中 漁聯が期待に背けば いつでも御苑蒙る。

所派に近四の風便で

析画部石にお話する機能が少

として離取した後、『今ま三私か前 がったくめ、 或は私の所見が 静解

的以に迷惑かからるやうなこと

漁職を退けて良い方法に改めませ継が上りたかつた場合には運かに ほからした方が際じて府民に對し と思います、若しやつでみて成

致すところですから何本お

御研究

世紀の戀、實を結ぶ

再び咸興へ

ウインザー公めでたく御結婚

小客別近で御事を止めさせら 7.年前八時华山肥御出館、武 智用程定を三十分早めさせら 植物の興研究あり、午後 約三十分に重り平素御幽味 祭の第一夜を過させらの長津山田に成南御弘 造造器く重らせらると高 冠を惜し知なく治てさせられ過数 の意』は弦に雰出度く質を結ぶこ 【カンデ城にて同盟特派員二日設】 - の御船を改は三日午町十二時三十五分カンデ城に於て砲がなく終了した - 「カンデ城三日同盟」ウインザー公とウオーリス・ウオーフイールドよいと

いよ。日午前城内護胤でメルンエ町長立一数で宗教上の式かあり、イギリス一代の派遣されないのが報しい、職一分にわき立つてゐる

公の新婦ウオーフイルド女史と三一正午までに終るが午後は帰内詩樂一合十五名でイギリス皇記から即名

ととなった、いはゆるウインザー一突敵を演奏する機能である、武は

天下晴れて

雅行『世紀』成法の高級能文を顕謝したのも有御結を式を られるがメルシエ町長にフランス

館の下に法律上の価値を式を配け

カンデ焼を後に思用のアドリアル

御前にて二州を忠立談取りである 結り式が削りなく終しずればウイ

けて参列非公式に個視能を言上す 44ジョージ大世族下の即内急を受治派問行モンクトン氏が特に即身

外に生下限の印立か入ってみた、

上式のボケットには整筒の調石の 上式とカンカン帽が落してゐた、

同等被強手形的地上問答

ことになってゐる、結び式前夜

その他香り

おいた 大学中に

府内各署に 指名手配

日夕五年川彩から京城副路湾へ 人用より中央カフェーで助くう れた好は下れば公安を架するほとがいれた。 はんで同りして次に、実から腹壁地である京原性健康の一七四班大阪平位北京 にんで同りして次に、実から腹壁地である京原性健康の一七四班大阪平位北京 にんで同りして次に、実から腹壁地である京原性健康のつて、まる廿四日に川人歌の平 単めたが、同女はこれを聞かず途 只方が縛らない。 こので、東京には一日に川彩から京城副路湾へ ち昭和十一年十月道は居住政府 近られたが、早くから南側に不可して、まる廿四日に川人歌の平 単めたが、同女はこれを聞かず途 日子が縛らない

1400C000-00 150C000-00 150C000 150C000-00 150C00

五分死去仕候間御通知申上一部分死去仕候間御通知申上

夢茸トニクの

の金額地に限てみた金式の長男 数かがけつけると観鏡には個人の場合に対して金を出せた韓国してる。かより、相手のひらむ郷に選手くいの金銭が放大、鉄路中の主人を、大きなに減し水の塔場がは人、鉄路中の主人を

愛よりも强き阿片

國際愛を棒に振つた中年女

上海より送還さる

て情報を引動へんとしたところが

乳カリンリヤ地方へ

密月の旅に

名だオルガニストデュブレ氏が騰く式にウインザー公から指令を受け、民法の気軽値文を開設したのも有

た資各はロスチャイルド男際管伽

のため英米伸三國族を美しく飾つ 建し辿へたモンの村民進は公大は |花が美しく飾られてゐる、一方ゆ

魔器神怪につきい都郎では八人か、三日朝本殿の前本園に渡つた個人

意れて来たものである

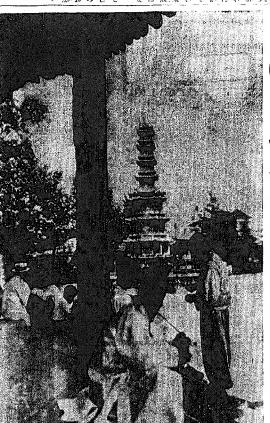
質祭部から

安地で上海日本船領場館から送取

に組んに固能受も同片のため破綻

現場に遺棄したないい上式にりて

くりなくも階層に「世紀の概念・



A 京城鍾路パコダ公園にて

|| 新月の1975年 | 1975年

には現が他一尺位約まれてゐてこ一の呼の水学を修練する計准が開降

でこの中には約州年間も大切と を期してゐる、しかし今以中には

サイレンを唱りして

てられた敗自風の魚類からよ

的機道は引掛け作業中である 原風を急行せしの三名を収容した 一十師画のい合野外演習(上)描画部(下)翻訳

歯はありません

「原信度は週末 大土石子名採用シタン 大土石子名採用シタン 大田 (本学) 前当以後) 大田 (本学) 前当以後)

芯

株式曾赴 須川洋行 株式曾赴 須川洋行

がいた。 がいたこと とはなる。 でこよったしし でこよったしし

自石秀信

謝近火御見舞

支摘加耳 支梯地、支梯坦伊、宋僧面 金菱子式官五四六台为魏也,于明宫五四六台为魏也。于明宫五四六台为魏也。于明治 失 昭 浩

無料で治療もします

* * * * * * * * *

鐵柴味

式

8

ĒĹ

松豆口等内

るのしい

時半京城殿着列車で光州からは

一けてゐるか經過よく生命は取り 治町一松田文雄の古縁の基格が

社成園

京城初かり、一つ、明子大変の京城初かり、一一 員 が第十条と大変に対して行間が分十段と大変に対して行間の分十段を大変に対している。

人面紙 本町二丁川 清 香 魔と向子就前後一名下動き女一名本

すさん(これ)は本田腐炭で手切り

るに生つた単恒は不明である 氏がは極を引取りに來たが肌弾

段に就ては同協館事業の耕食化

任監事內定為作品與

★ 海田板のマムウリアンの おくし、ボーギイとマス」 かく、ボーギイとマス」 ・ 初夏の前にニノマル ・ 初夏の前にニノマル ・ 一 初夏の前にニノマル ・ 一 初夏の前にニノマル ・ 一 初夏の前にニノマル

門職では折り時 行ふがは城内は

興味をそ、る

まづ時間険重の

料時記修織のサービス路・一丁日區場で路は無

自分の所有土地の如く扱つて京

孔徳町の兪俊男さんの次男吉 (デ)をも嫌き倒した、被害者は何 お飛ばし斑に附近で遊んでゐた新 氏(は)とその次男器施長(で)を刎 中の当土徳町の劉指でざんの原共 のひく時心場が突和鼻れ出し通行

妾、毒をのむ 京照法

町一一一食料品品供加量の意思は 解脱し環境研究に抱き込んだが 校を属り苦悶してゐるのを家人が 庭の不和から情性再遺をのんで自 限さん(三,が三日午後九時子ぎ家 落ではありませんか、名具

水原邑の昭盗

一人を斬る

ひるむ隙に

服毒の斷髪女

野野を通じて済書屋に野野を通じて済書屋と

三十年間禁斷の春塘池

さて、どんな怪物が潜む?

3一方間依否逮捕に努めてあるが

桃化創町で同町二七1次型食"o) 三日午後七時半ごろ京城桃花町の

るがよいこと

が、新聞人を快速度の手先き また誰名に務ちた家主 何かのやらに心様であるとこ …これでは間似でなく恐怖が

| 八布木町の腹線さんガハ世玉線|| て怪波と引触へんとしたところ総||李中順でこと自動する男を経過者||紋でた肌は角膜のは、全帯化飛明||日午順三時生ころ水脈に南水町||東陸語位としがパブラ神上側力し ||三日午被六時すぎ茂級報時間上九||八四東水県鮮てカルモデン自殺と 日午後六時ごろ京城永潔町二の 命は取止める けふの天気

間標度の領性を関し「海に降 世例により十日

馬車大暴れ 三名を傷く

昨夕桃花町で

を省せたものです 近く「自分は新聞礼の有

間後時々神気り

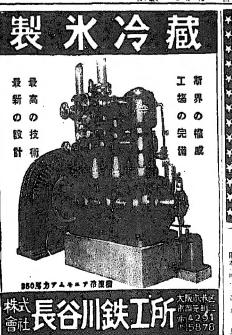
萬圓詐取

なく同五時ごろ門談町県代書所が一ついて第二回の手配を行つた 邓が人域、活動を開始したが開る | 時まへ犯人の立郷り先順に着会に三日子後突如門返答神田、南南邦 | として府内各落に損名手配し同十 工作中發覺して御用

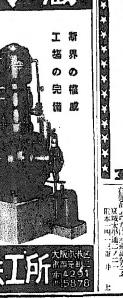
I 斯 摥 Ø 0 完 艡 備

最 最 新 高 Ø Ø 設 技 計 術 250馬力アムモニア市東部













供原動資高級タスチーア・ドフテイナニ本日 |作物型ロブ・ーサスラ・ドーオフ クッピ

第一生命保險相互 鹽社 - 皇命保險相互 鹽社 編輯部員募集

、希望者応歴書送れ而曾日運知、解除の有無に不断考力が図の出述化別、解と言語は任何 「有成以上

特別等内 **外務社員招聘**

明 新 数景 贫田 众 明 前 时 人名

ルーペン・ 質 哲 年

ni Ng

家具が消滅が出る。

るので水を乾した時果してど スクな化物になつてゐるものもあ してをり中には年を取つてグロテ

はまない事を仰有りましていかられ

して好いつ ておつもりに

何をいつたつて、精測さんがいふ たの子もやたいか、あんだ人か、 ず、清削さんのいはv居敗の、山 んか、だから……

写場の 文吉つ て人が、同なんで

私がいくら言ったって、お母さん をして躍ぶつもりだつたんです。

父親と妙な媧似にある娘を、どう

英美の聲はつい母を咎めるやら

たつて、一段さんなんかと結婚し一のは、私には我優出来ない。

「お似さん、私、どんな事があつ

お愛が父母煙行を取上りげた。

うにあんまり単位なおへ方をする に行くことをあへてお臭れ』「何だつて鍛くわ、お扱さんのや よりか一日も早く、好い度へ

いふつもりでそんな事をいひ出す

「お母さん、私父吉さんを信頼し

60

私達の生活の清算のお手際ひ

|事が、一彦に對する極度の念を思||『それで、お母さんは楽んでいら

もなくそんな事をいひ出すといる。するのだつた。 させるに過ぎなかつた、限りにも一つしゃるのい

ね、分いないね」

『何を、この娘さら怒なんたらら」れど、家田をして、お町がどうや」『母子三人が長島住居をすること

るのとお前は口膝みたいに言ふけ | つて営つてるちやありませんか』 『直ぐと、親と贈れるの、家を出しまでも助けて一緒にやつてゆく

つて基せるつていふの。

は、私にやもう出來ないよ、それ

早く、好い遊へお嫁

同九時(東) 時事解脱 W

同九陸三〇分(東)時報・

時限・ニュー

同六時五〇分

同六時IIO分(消)ラデオスケ 同六時(所) 現論版

の計画は関連の

お貼り盛めようし、お町が、やか「わ」

Pそんなら、どうすれば好いつて

文美にとつては、一郎が実指十一自分まで舞しめられたやうな気が

永

太郎

かしてゆく自分を配する事が出來

もりだよ、お助さへ仕合せになれ ましく宮山精湖さんとも手を切つ

『お母さんが、無理に一彦さんに

私を押しつけようといふんだつた

て、別つ込んでしまつても好いつ

いふんだね。

でれが、お母さんの症性変?」

英美は、愤躍して、お愛につつ

跳れまする

ら、私は此系を出て、お母さんとし、、賢之でも恥ちない生活しませ

うよ、そしたら私はお母さんをど

日(土)

高 一心 鐵つてかる。原門に既いて古来戦 例として貼い開立本と正確に就い

日息二能交響樂團

局式實況(第二放送・京城・平局二時、四時(前)清津放決局開(早級職)

■一かせる舟を曳くのましい自身、大が横ったかってある。 は彼が被כたる疾病に得がしき場合によるである。 は一方がを裏せて浮ぶ自島は、作曲の倍好の材料であつた。 有の一曲は何れも「白島」に関む音楽の代表的なものである。 は一位をの指揮者は疾原突一氏である。 ないである。

んかと、さつばり膨れて、きれい

『だから、お母さん、精緻さんな

施に使べた

お題は怒りと恋しみを一緒くた

は耳を貸さなかつたおやありませ。

のかと不能能な銀がして、芙美は「『そりやね、お町が、猪捌さんに

切た方なんちやないのかい?』 『一語さんが、お前と紹介した 彦さんの方がもつとお前にに親 変には分らなかつた、 一郎さんか?」

お父さんに仰有ったさうだよ

に一寸お話ししたつきりだわい んには此の間、築地小周揚の飾り 私と結婚!真通らしい 阿克尔阿克拉思



なつか、知らないが、ともかくお

千首州日曜山上5中華 年前五時110分(長)小鳥6壁 健康対議は夏から 同九時四五分 料理献立(毎の帝同九時二〇分 氣象通報 同六時三〇分(東)茶礎獨語講座同六時(東)ラデオ體操 北京陸 上級段階話 今日の天気見込 日 (金) 段端話 (四) 武内 大道

同二時(東)小原生の時間「砂五

山)其の日の東郷大將同七時五五分(城)辖留(京城釜

同九時 新民路 (京城)

同七時三〇分(東)皆絃樂

山)歯牙の話が、原、の一時一五分、源道(朝鮮語・登)同一時一五分、源道(朝鮮語・登)

同七時ニュース、天気は八、微同の六時五〇分(東)コドモの前間、花子同同六時五分カレントトピックス、同一の大時五〇分(東)コドモの前間、在

原(時) 0分(時) 山

同八時10分(道) 離開 同八時(清)三曲「千代の径」。 週行局長、山田忠火ほか

同八時IIO分(語)吹奏樂

川村部殖住か

この有名な歌劇の先闘を爲す前 に張って現れてくる、人々は斷 、崩壊器に見た連然たる時出 時間(第二夜**送**。京城・平趨)

同10時(城)

同七時三〇分(诗)記念勝初

憶えのない罪を否められてゐる 雅はアントリーアのシエルト 河

> 態に幼妙に怪奇に響いてくる 准説左自島の歌は、イングリア ウネラの白品。は、この中 を扱いなければならない。 川に行う気府の自島で物語しく

野狐三次と

三世菊五郎

消の半院を表実に

して務めたいに

社いては、火 指願人二を上

と云はれ、三次は心好く、自分の

シュ・ホルンの獨奏に使つて陰

遊め

の浸り、主人公エルザ解が身に

歌劇『ローエングリン』の第一

が浦上から自島に曳かれた小舟

下音樂 (定城は第) 放送

| 同三時|| 〇分(原)敬師の時間 | | 大澤 - 遊鉱 いつまでも丈夫な歯を保つには同二時三〇分(城)家庭護座 同四時 ニュース (領集通報・登 理學博士 竹內 時男

同六時 謀渡(登山)結核に對す) 南野と領観 「原田 尾山 同六時(城) 趣味謀性(京城・平 後山)結核に對する。 総田 尾山

登山府民病院長・路内 松市 T

ラ (デ

医型神士 三田谷 客 近年(東)時根、月用品世級、鮮 魚川伯政

高橋マンドリンアンサン。著時五分(城)マンドリン

| 第一 (第二放送) | 原 | 英能議座 チ 蟲齒八景 中野四郎・作同六時三〇分(東)ラギオスケツ 澤村寅二郎

支那の六朝時代南齊の勘家なる謝 座講味趣 南書氣 原田尾山太原光原

なるものは宋の郭若胤と明の意具 は強らない、領観の解釋の代表的 大法に東洋調金の根本原則で今に 一に知識生動を思げてゐる。この

は、北端の如く髪師的でなく これ、北端の如く髪師的でなく これ、北端の如く髪師のでなく でれば、明治の選挙は横ねこの 四大家を崇聞したかくて崩弱は 人品品く身を選択い士夫の目である。 南語といふ言葉は南宗文人の語 は四の李忠訓から始まるとし南 は四の李忠訓から始まるとし南

つた四部件の交響語言レミカイ

三、トウネラの白鳥 『カレヴァラ』に題材を求めて作 スがスカンジナヴィアの神話 『トウネラの白鳥』はシベリウ

保持ことによって得るべき所ある。 説的ければ自ら無償生動するとい

二、白鳥

サンサーンス作曲

の一つで、十字架上のキリ 奏曲は、ガアーゲナー快心の作 めいて『白鳥白鳥!』と明ら、

火消、野山ない、大人間きで、

新五郎が大い

に前間を立てたという、暗地三大 戸の火消費だ。とそれが人気にか 半胱を聞つた。『今度の六三は江

の血を受たといる神器な悪物の

行列を描いた雄大な曲である

は、優雅な自島の豪である、副 ぶ白品、機能な疑問は続い要を かな祠に白い路を投げ略然と浮

歯を保つには 何時迄も丈夫に

機論與大澤義誠

は日四月六

泉の風のことで、共虚に行くか

並大間質の一つとなつて居ります なる方法で向上政 明かな事實であつて今後之を如何いて避我せられたことからしても 能に内勢省衛生局の調査資料に基 つくある現況は先班隆軍省所務局 近地技國民の體位が ムシ別は所謂又明編の一つとも言

否せしめるかい

型見能に就い

父親に別れて十五年展布、人の噂」と三世衆五郎の一席 冢庭講座 音と弱力して此運動に参加致して唇り で下に京城始め斉地の歯科質師 の下に京城始め斉地の歯科質師 の下に京城があ斉地の歯科質師

著しく低下し

在学聞と云志茂田薫重で、瑞茂を に於て励にしいのでありますと異ねて上方による道、高田徳の しく増加の傾向にあり絵に葡萄地を異ねて上方にあると聞き、父謝 とくり別の郷生候熊は年々職を書 新遊州五日館市河入日二月十日 新遊州五日館市河入日二月十日



常院病學大國希名

ン)はこれら個々の細るのであつてブルトー

細胞原形質を賦活して

克く体質を改善せしめ漸次健康强化

し疾病に對する抵抗

實し 新陳代謝を旺盛ならしめて体重を増加の刺戟鞭撻と兩々相俟つて 弱体の榮養を充らを清澄ならしめる一面 細胞構成源たる体蛋を活潑ならしめる一面 細胞構成源たる体蛋ン)はこれら個々の細胞を賦活してその機能 るのであつてブルトーゼ(造血アウトホルモ吾人の肉體は幾億兆の細胞の集積から成立す 新陳代謝を旺盛にする へと導 外病質疾患治療剤 呼吸器 神の変 安庭强見保健剤 小瓶ニュニ〇世性疾激治疫剤 小瓶ニ・〇〇トロ吸出増通剤 大の従二・〇〇三六〇統一・八〇 小瓶二三〇 小斑 ニ・六〇 福血强壯劑 ブルトーゼ ブルトーゼ 大阪・四・三〇 大瓶 大瓶 三・七〇 ブルトーゼ ブルトーゼ 11.0

官 友 澤 藤

瀬 の 動 活」子 階

渔 代

無「泉

町修道區東市阪大 町本區橋本日市京東

B 1242